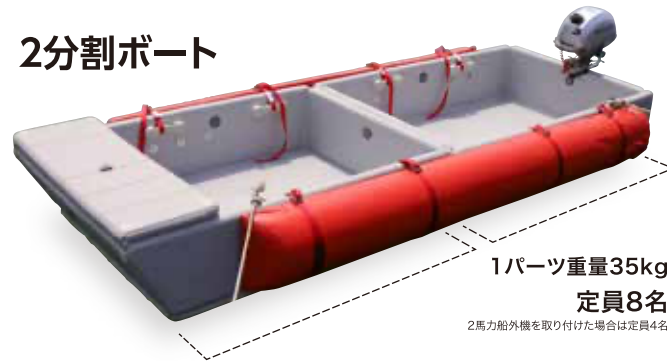


分割式で軽く運べ免許不要
軽バンに積める沈まない安心救援艇

分割ボート

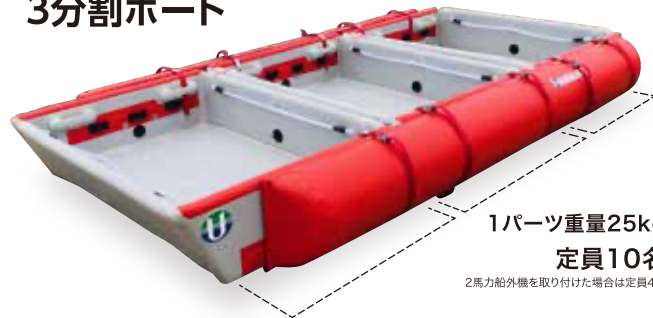
2分割ボート



1パーツ重量35kg
定員8名
2馬力船外機を取り付けた場合は定員4名

分割ボートシリーズは、沈まないウレタン構造を採用した安心・軽量の分割式ボートです。二分割タイプは1パーツ約35kg、三分割タイプは約25kgと軽量で、二人で簡単に持ち運びが可能。工具不要で本体とサイドチューブをベルトで連

3分割ボート



1パーツ重量25kg
定員10名
2馬力船外機を取り付けた場合は定員4名

結するだけで、安定感のあるボートをすぐに組み立てられます。さらに船舶免許や船検が不要な2馬力船外機を装着でき、軽自動車にも積載可能。緊急時に現場へ迅速に駆けつけられる、災害対応やレジャーに最適な次世代ボートです。



実用新案特許取得／船体固定用ボートサイドフロートバー：船体部連結の役割とボートの横からの浮力サポートにより安定性を実現します。

 **浜口ウレタン株式会社**

浜口ウレタン本社

〒432-8001 静岡県浜松市中央区西山町1961

TEL／053-485-1331 FAX／053-485-4606

URL／hamaure.co.jp

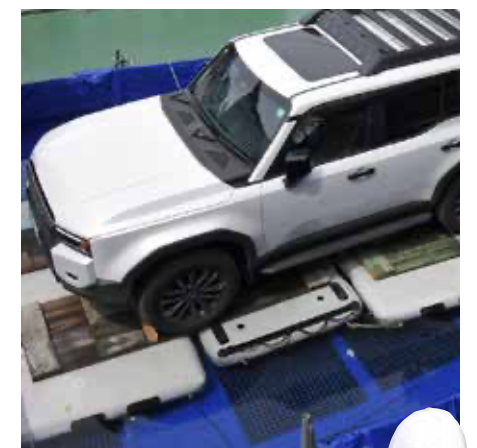
ハマウレマリン URL／hamauremarine.com

ハマウレマリンは浜口ウレタン株式会社が展開するマリブランド

HAMAURE®

浮いて守る
— という考え方 —

頻発する水害から命を守る



「快適な暮らし」を支える自然のバランスが いま大きく崩れ始めている

私たちが快適に暮らすためには、
空気、風、水、雨といった自然のバランスが安定していることが大切です。
しかし近年、このバランスが大きく乱れています。その大きな原因は、
人間の活動によって増加した二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスです。
これらが地球を温め、気候の仕組み全体を不安定にしています。
全国各地で線状降水帯による集中豪雨や突発的な豪雨が頻発し、
その結果、大規模な水害や洪水被害を引き起こす原因となっています。

浮いて守る という考え方

第1に「安全な場所に 逃げる」

今後30年以内に発生する確率70~80%と
言われている南海トラフ地震、津波や豪雨
による水害から人命を守るために避難指示
が出される。避難指示が出たらず第1に
安全な場所に逃げる。



第2に「浮いて守る」 という考え方

実際には、時間があっても逃げられない人、
自宅を避難場所と考えて移動しない人、避
難には介助を必要とする人など、さまざま
な事情を抱える人がいます。さらに「逃げよ
う」としても、予測を超える速さや規模で災
害が迫り、避難が間に合わないケースも少
なくありません。

このような現実を踏まえると、従来の「避難
する」という発想だけでは命を守れない状
況があります。だからこそ、「浮いて守る」と
いう新しい考え方が、これからの災害対策に
不可欠となるのです。



屋根裏への避難構造

屋根裏から伸びて来る階段を使い、入口蓋を押し上げて入室。蓋を閉めれば下からの水の侵入を防ぎ、テーブル代わりになり生活空間としても機能します。床には全面に20cm厚、壁には50cm厚×高さ50cmまで硬質ウレタンを充填し、強度と浮力を持たせています。

屋上脱出
専用窓

屋根裏
避難
エリア

硬質ウレタン
浮力体
5.5t

屋根裏が命を守る場所に



一般的に屋根と外壁とはホゾ式で接続されていて、頑丈な金具等での補強は無いのが普通で、屋根近くまで水没すると屋根の浮力を高めている分、屋根は外壁から外れやすいと考えています。

屋根裏からさらに屋根上へ出られる専用窓を設置。屋根勾配による滑落リスクに備え、先端には手すりやフックを備え付け、ロープを結んで安全を確保できます。従来の木造屋根を強化しつつ、災害時の脱出口として安心できるアイデアが可能です。

内部には充電式電動空気入れで数分で膨らむインフレーターボートや家族人数分の硬質ウレタン性「フローティングプロテクター24」を完備し、状況に応じて「ボートで集団避難」または「個別に避難」を選べますが、その時々で命を守る最良の方法をお選び下さい。



10人入っての浮力実験で余裕の浮力を発揮する、屋根裏シェルター



付属装備:
充電式電動空気入れ

画像は開発中のものにつき実際とは異なる場合があります。

マイカーを守る新発想 駐車場ごと浮かせる安心対策

浮く駐車場

JP.PAT.6704615

これまで駐車場は増水に無防備でした。
どれほど性能の高い車でも、
水没すれば廃車になる例は少なくありません。
浜口の「浮く駐車場」は駐車場そのものを浮力体に変えるという新発想で、
駐車場床のフロートが車を載せたまま、増水する
水位に合わせて浮き上がるという仕組みです。
日常は駐車スペースとして使用します。
車に人を乗せたまま浮かすこともでき、
急な増水時には車も人の命も
同時に守ることができる
命綱となる防災装置です。



※写真は合成イメージです



HAMAURE
浮いて守る
という考え方

浮く駐車場 浮力テストの様子



特徴は水位が上昇しても車を載せたまま下のフロートが上昇していき、車が水没するのを防ぎます。マットの四方に固定用金具を付けています。その時の状況を想定して車の固定、フロートの固定方法を決めて対処してください。

車両保険では台風、洪水、高波による水害については、その時の車の保証金額の上限値まで補償されますが、地震、津波での水害については、50万円までの保証金額であり、割高な保険になっています。

水没すれば使えなくなる可能性が高く、愛車は戻らないかも。愛車を水没させない方法として考えてはどうでしょう。



「浮く駐車場」浮力テスト／マット厚20cm 水深50cm

突然の水害に備える 家族を守るボート

近年増える集中豪雨や津波で車や徒歩での避難が困難になっても、このボートは命を守る備えとなります。
浜口ウレタンでは、硬質ウレタンを注入した「セーフティボートシリーズ」、軽量の「セーフティボートミニシリーズ」など、複数の小型水害対策ボートを開発しています。
これらは孤立地域からの避難支援や、海・川での救助活動における人命救助や物資運搬に活用可能。さらに車イス対応モデルや、2馬力船外機を搭載して数人が乗船できるタイプなど、多彩な用途に応じたラインナップを揃えています。



SB290

HAMAURE
浮いて守る
— という考え方 —

セーフティボート



SB290SN / オール2本付



HAMAURE
浮いて守る
 という考え方

フローティングプロテクター24

津波や大規模水害では、
 漂流物の衝撃と海水による窒息が命を奪います。
 フローティングプロテクター24は、
 通常のライフジャケットの約3倍となる24kgの浮力を備え、
 硬質ウレタンで衝撃から身体を守る設計。
 大人3人がつかまっても沈まない
 安心感を実現しました。
 車に積んでおけるコンパクトサイズで、
 いざという時にすぐ着用可能。
 日頃から練習しておけば、
 非常時に確実に命を守ります。



性能規格

- 浮力:大人 24kg / 子供 8kg
- 本体重量:大人 2.5kg / 子供 1kg
- 耐衝撃性:硬質ウレタン内蔵



圧倒的な浮力で命を守る

国基準を超える約24kgの浮力を持つ
 フローティングプロテクター24。
 津波や豪雨の強流でも体を浮かせ、一
 般救命胴衣の3倍以上の浮力で安心
 を高めます。



衝撃に強い硬質ウレタン構造

素材には独立気泡の硬質ウレタンを
 採用。水を吸わず破損に強い。漂流物
 や瓦礫による衝撃をやわらげ、過酷な
 災害現場でも安心して使える強靱な
 防災設計です。



1500着以上の導入実績

すでに全国で1500着以上の導入実
 績があります。自治体や防災拠点で採
 用が進み、普段はコンパクトに収納、緊
 急時はすぐ装着できる操作性の高さも
 評価されています。

HAMAURE
浮いて守る
 という考え方

車イス救命フロート

車イス利用者を津波や水害から守るために
 開発された救命フロートです。
 充電式電動空気入れを装備していますので
 数分以内で簡単にエアの充填が可能です。
 大きな浮力を持ち、太平洋の荒波で行った
 浮力試験でも、重心が下部にあることで
 高い安定性を実証しました。



**短時間で膨らみ、
 安定する安心フロート。**

本製品はインフレイタブル仕
 様で、付属の充電式電動空気
 入れにより短時間で空気を充填できま
 す。車椅子とフロートチューブはワン
 タッチで簡単に着脱でき、使用後はコ
 ンパクトに折りたたんで保管可能です。
 軽量設計のため、持ち運びや車椅子へ
 の装着も容易です。また、水上に浮いた
 際にはフロートチューブの位置が陸上
 時より15cmほど浮き上がる構造(機
 種により異なります)になっており、優
 れた安定性を発揮します。



画像は開発中のものにつき実際とは異なる場合があります。